

入間市こども計画策定に係る 意見聴取(ヒアリング) 報告書

令和 7 年 3 月

入間市

目次

- 1 概要
- 2 こどもへのヒアリング
- 3 利用者支援事業（基本型）の出張相談におけるヒアリング
- 4 住みやすさが実感できるまちプロモーションチームにおけるヒアリング
- 5 まとめ

1 概要

入間市こども計画の策定に向けて、ヒアリングやアンケート、パブリックコメントを通じて、こどもや子育て当事者から意見を聴きました。

その中でも、ここではヒアリングについての概要をまとめています。また、こどもへのヒアリングを詳しくまとめた報告書もありますので、そちらもご覧ください。

2 こどもへのヒアリング

こどもたちの率直な意見を聴くために、入間市児童センター（アイクス）とNPO法人AIKURU「AIKURU FREE BASE」でヒアリングを行いました。

① 入間市児童センター（アイクス）

日にち 令和6年7月30日（火）～8月22日（木）

手法 児童センター内にブースを設置し、こどもにアンケートを記入してもらいました。補足説明が必要な場合は、調査員が個別にサポートしました。7月31日以降は引き続きブースを設け、児童センター職員が回収しました。

対象者 児童センターを利用する小・中学生（ボランティアの中学生含む。） 合計159人

② NPO法人AIKURU「AIKURU FREE BASE」

日にち 令和6年8月2日（金）

手法 調査員が施設に訪問し、共に時間を過ごしながら、自然な会話を通じて、生の声を聴きました。対話の中で彼らの考えを深く理解するために、流れに応じて質問を掘り下げて聴きました。

対象者 AIKURU FREE BASEを利用する中学生、高校生、若者 合計18人

居場所について（児童センター）

平日や休日によく過ごす場所について、聴きました。

【平日】

内 容	件 数
自分の家	1 0 1
公園	3 2
習い事／塾	2 9
児童センター	1 9
友達の家	1 6
学童保育室	1 2
学校	1 1
放課後デイサービス	4
祖父母の家	2
その他	1 7
計	2 4 3

【休日】

内 容	件 数
自分の家	8 8
公園	2 5
習い事／塾	2 4
児童センター	2 3
商業施設	2 1
学校	9
友達の家	8
祖父母の家	4
放課後デイサービス	1
その他	2 9
計	2 4 3

居場所について（児童センター）

平日や休日によく過ごす場所で、一緒に過ごす人について、聴きました。

【平日】

内 容	件 数
友達	1 0 1
きょうだい	4 1
母親	3 4
家族	2 8
一人	2 8
父親	9
祖父母	5
その他の親族	1
先生	1
その他	4
計	2 5 2

【休日】

内 容	件 数
友達	6 3
母親	5 0
家族	4 2
父親	4 1
きょうだい	3 2
一人	1 8
祖父母	5
その他の親族	2
先生	2
その他	1 4
計	2 4 3

居場所について（児童センター）

普段過ごしている場所以外で、どのような場所で過ごしたいか聴きました。

内 容	件 数
友達と（楽しく）過ごせる場所	4 6
スポーツができる場所	2 6
自然や動物に触れ合える場所	3 4
自宅・自宅の近く	1 3
勉強や読書が出来る場所	1 2
公園	1 1
プール	7
落ち着ける場所・静かな場所	6
友達の家	6
図書館・児童センター	6
その他	4 1
計	1 9 8

【まとめ：居場所について】

平日、休日ともに「自分の家」で過ごす人が最も多かった。休日では、「商業施設」が増えている。また、一緒に過ごす人は、平日、休日ともに「友達」が最も多いものの、休日では、家族と過ごす人が増えている。

過ごしたい場所としては、「友達と（楽しく）過ごせる場所」が最も多く、次いで「スポーツができる場所」、「自然や動物に触れ合える場所」が多かった。

こどもと関わる職業について（児童センター）

ボランティアをしている中学生に、こどもと関わる職業の印象や保育士になりたいか（その理由も）聴きました。

保育士になりたい人

印象

- ・明るくて楽しそう
- ・楽しくやりがいがあるけど、覚えることが多く、コミュニケーションが大変

理由

- ・こどもと関わるのが好きだから
- ・今日の体験で、こどもと関わる楽しさを学べたから

そうではない人

- ・こどもの生き生きした姿が見られる
- ・やさしい、大変そう

- ・ほかの夢があるから
- ・幼稚園の体験をして大変だったから

【まとめ：こどもと関わる職業について】

保育士になりたいと思う人は、こどもと関わることに好意的な印象を持っている人が多かった。保育士になりたいと思わない人は、保育士の負担の大きさを挙げる人が多かった。

保育士が将来の職業選択の一つである人を増やすためには、保育の魅力を知ってもらうことや働きやすい環境づくりが重要と考えられる。

入間市の魅力について（AIKURU FREE BASE）

入間市の魅力について、聴きました。

具体的な意見	年齢／性別
自然が豊かで、都会過ぎず田舎過ぎないバランスの良い環境が入間市の魅力だと感じます。適度に便利でありながらも、落ち着いた雰囲気が良いと思います。	高校３年／男性
入間市は都内へのアクセスがとても良いと感じます。市内に駅が３つありどのエリアへも出やすいため、日常生活や通学にも便利です。	２３歳／女性
地元で開催されるお祭りは毎年とても楽しいです。もっと地域のイベントがあると良いと思います。	１３歳、１９歳／男性

【まとめ：入間市の魅力について】

入間市が若者から親しまれるポイントは、都会過ぎず田舎過ぎず、バランスの取れた「ちょうどいい」まちということが分かりました。都心へのアクセスの良さのほかにも、緑豊かな公園や特産品の狭山茶、友達と集まれる場所など、多様な魅力が挙げられました。

入間市はこうした未来を担う若者の声を大切にしながら、次世代がより輝き、一層魅力あふれるまちを市民と一緒に創っていきます。

入間市の未来について（AIKURU FREE BASE）

入間市の魅力や良くないところについて、どうしたらもっと良くなるか聴きました。

カテゴリー	具体的な意見	年齢 ／性別	意見から考えられること
公共施設 ・居場所	中高生が自由に集まれて、リラックスできるような場所をもっと増やしてほしいです。通学経路の中にあると、もっと便利に感じられると思います。	高校生 ／男性	事業を行うにあたっては、生活圏域等を考慮した地域区分はもちろん、通学や通勤の経路も重要な視点です。
	小学生の頃を振り返ると、公園が少なく、遊ぶ場所がなかったです。遊具が整備された公園が必要だと思います。	16歳 ／男性	こどもが遊びたいと思う公園になるように、遊具の整備等をする必要があります。
	こども・若者だけで利用できるなど、体育館をもっと簡単に利用したいです。また、スポーツイベントを開いてほしいです。	高校生3名 ／男性	利用手続き等を見直すことで、こども・若者のスポーツへの親しみやすさにつながるかもしれません。

入間市の未来について（AIKURU FREE BASE）

入間市の魅力や良くないところについて、どうしたらもっと良くなるか聴きました。

カテゴリー	具体的な意見	年齢 ／性別	意見から考えられること
公共施設 ・居場所	市役所内にカフェや休憩スペースがあると便利だと思います。その方が入りやすく、待ち時間も楽しめ、市民にとって利用しやすい施設になると思います。	23歳 ／女性	市役所の利便性を高めるためには、手続きの簡略化はもちろん、市民に親しまれる機能を持つことも重要です。
環境 ・整備	カーブミラーがなくて危ないと感じる場所があります。どこに伝えたら改善してもらえるのか分かりません。	23歳 ／女性	市民が困った時に相談する窓口をより分かりやすく伝えていく必要があります。
	観光施設が増えると交通機関が混雑するため、住みやすさを重視してほしいです。	17歳 ／女性	住みやすさを実感してもらうためには、交通機関の混雑は重要です。

入間市の未来について（AIKURU FREE BASE）

入間市の魅力や良くないところについて、どうしたらもっと良くなるか聴きました。

カテゴリー	具体的な意見	年齢 ／性別	意見から考えられること
将来への 支援	将来に向けて、職業や起業に関する知識を学ぶ機会を提供してほしいです。	16歳 ／男性	将来の選択に向けて、こども・若者を支えることが重要です。
交通の 利便性	坂が多く、市内の移動が大変です。また、入間市駅と武蔵藤沢駅の間はバスが少なく不便です。	23歳 ／女性	交通に不便な地域があることは入間市の弱みです。弱みを強みに変えるためには柔軟な対応が必要です。
特産物 ・知名度	入間市に住みたいと思ってもらうために、まずは入間市を知ってもらう必要があると思う。地名の入った特産物を作れば、入間市の知名度も上がると思う。	16歳 ／男性	入間市を知るきっかけとして、特産物を使ったPRは有効かもしれません。

入間市の未来について（AIKURU FREE BASE）

【まとめ：入間市の未来について】

まちづくりに関して、様々な視点での意見を聴くことができました。入間市は、若者たちにとって魅力的な「住みやすいまち」として評価される一方で、市の課題からよりよくなる可能性が見えてきました。若者の意見の中には、こども支援部に関する事業のみならず、一市民として、こども・若者の生活に関係する仕組みへの意見も多くあり、期待されていることが分かりました。未来を担う世代の意見を踏まえ、今後の施策へ生かすことができるよう、全庁的に共有を図っていきます。

3 利用者支援事業（基本型）の出張相談におけるヒアリング

実際に子育て支援を利用している子育て当事者から意見を聴くために、入間市児童センター（アイクス）と子育て支援センターあおぞらでヒアリングを行いました。

① 入間市児童センター（アイクス）

日時 令和6年7月18日（木）10時30分～11時30分

手法 児童センターの乳幼児向けイベントの参加者に対して、合同で意見交換しながら、意見を聴きました。

人数 7人

② 子育て支援センターあおぞら

日時 令和6年7月25日（木）10時～12時

手法 利用者に対して、個別に対話し、意見を聴きました。

人数 5人（＋子育て支援センターあおぞらスタッフ）

利用者からの意見について

児童センター、子育て支援センターあおぞらの利用者からの意見とその課題について、分野ごとにまとめました。

子育て支援

意見

- ・日曜日に休日保育があってほしい
- ・一時預かりを一定期間利用できると良い

課題

- ・サービス業の人が休日の預け先に困っている
- ・一時預かりの定員の少なさ、こども誰でも通園制度への対応

保険・医療

- ・市内の感染症の状況が知りたい
- ・市内で出産できると、こどもを産もうと思う人が増えるのではないか
- ・小児科の待ち時間が長いため、小児科が少ないのではないか
- ・乳幼児健康診査の回数がもっとあると良い

- ・相談体制等、安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実

利用者からの意見について

児童センター、子育て支援センターあおぞらの利用者からの意見とその課題について、分野ごとにまとめました。

情報発信

意 見

- ・ 聞きに行かなくても子育て情報を得られるようにしてほしい
- ・ 寝かしつけ等の「ながら」でできるため、入所申込等、オンライン申請になると良い
- ・ 健診のついでに、保育所の入所の案内がほしい
- ・ 利用者支援事業を知らない

課 題

- ・ 子育てで忙しい子育て当事者の情報収集の負担感
- ・ 利用者目線での申請方法の検討
- ・ 母子保健事業と子育て支援の連携
- ・ 事業自体や実施場所の更なる周知

このほか、次のような意見もありました。

- ・ 公園が多い点が良い
- ・ 普段行く子育て支援センターに利用者支援専門員が来てくれるのが良い

利用者からの意見について

【まとめ：利用者からの意見について】

特に子育て支援やこどもの健康について、当事者目線での様々な意見を聴くことができました。日曜日の休日保育のように切実なものから、普段の子育て支援がもっと良くなるためのポイントまで、多岐にわたるものでした。子育て支援の拡充には、経済的・人的資源などが必要となり、迅速な拡充が難しい面がありますが、今まさに困っている人に寄り添った対応ができるよう努めてまいります。

4 住みやすさが実感できるまちプロモーションチームにおけるヒアリング

市職員であり、仕事と子育てを両立している子育て当事者から意見を聴くために、入間市こども計画骨子案の説明を行った上で、ヒアリングを行いました。

① 入間市こども計画骨子案の説明

日にち 令和6年7月11日（木）

内 容 入間市こども計画骨子案を基に説明を行い、主に次の視点で意見を出してもらうことにしました。

- ・入間市こども計画骨子案の全般について（デザイン面等）
- ・「地域における子育て支援、仕事と子育ての両立の推進」について

② ヒアリング

日にち 令和6年8月23日（金）

内 容 住みやすさが実感できるまちプロモーションチームのメンバーと対話しながら意見を聴きました。

市職員（子育て当事者）からの意見について

市職員（子育て当事者）から、仕事と子育てを両立する上であると嬉しい支援について、意見とその課題について、分野ごとにまとめました。

子育て支援

意見

- ・ 児童センターは人が集中しているため、各地区に屋内の遊び場やイベントがほしい
- ・ 送迎で習い事が難しいため、学童で習い事もさせられたら嬉しい
- ・ 親として学童に入れやすく、こどもも入り続けたいと思う環境整備をしてほしい
- ・ 外食チケット等、家事支援があると嬉しい

職場環境

- ・ 制度はあっても、業務量・人員配置を考えると休みづらい
- ・ 小学校に上がると時短勤務がなくなるため、在宅やフレックス等を含めて柔軟に働きたい
- ・ 育休中は収入が減るため、経済的な支援があると嬉しい
- ・ 看護休暇以外のこども都合で休める制度がほしい

課題

- ・ 遊べる場所が一部に集中している
- ・ 共働きによるこどもの体験の格差
- ・ 学童の受け皿の拡充、質の向上
- ・ 仕事との両立だけでなく、家事との両立の難しさ

- ・ 職場に余裕がない
- ・ 柔軟な働き方の制度が整っていない、制度が途切れている
- ・ 実質的な経済的負担の増加
- ・ こどもの都合で休まなければならない場面が多い

市職員（子育て当事者）からの意見について

市職員（子育て当事者）からの意見とその課題について、分野ごとにまとめました。

仕事と子育ての両立が
難しいと感じるとき

意 見

- ・ こども都合の休みで職場や家族と調整をするとき
- ・ こどもの年齢的(小学生)に部分休業や時短勤務が使えないとき
- ・ 行事や保護者会等で休むタイミングが多いとき
- ・ 家事をしながらこどもと接しているとき

課 題

- ・ 職場の理解が足りない。理解があっても業務量的に申し訳なく感じる。
度々、同僚や家族と調整するのも負担
- ・ 制度が途切れている
- ・ こども都合の休みが充実していない
- ・ こどもと接する時間の確保

このほか、計画についても次のような意見もありました。

- ・ 文章が固く、難しいため、やさしい言葉だと良い
- ・ 概要版があると良い
- ・ 現計画のデザインが良く、可愛らしいデザインだと良い

市職員（子育て当事者）からの意見について

【まとめ：市職員（子育て当事者）からの意見について】

仕事と子育ての両立について、実際の体験に基づく話を聴くことができ、職場の理解や余裕が足りていない様子が伺えました。子育てしやすい社会の実現のためには、子育て支援の充実だけでなく、働きやすい職場環境も重要です。法改正による職場環境の充実とともに、職場や社会の機運醸成に向けた情報発信等、引き続き研究してまいります。

5 まとめ

今回のヒアリングを通じて、こどもや子育て当事者から様々な意見を聴くことができました。

どの意見もととても具体的で参考になるとともに、具体的であるが故に計画にまでは反映できないものもありました。

中には、既に取り組んでいるものや、法改正等により対応予定のものなどもありました。これらについては、暮らしやすさにつながるように、より良い周知を研究し、引き続き対応してまいります。

入間市こども計画を進めていくにあたり、皆さんからいただいた意見を活かした施策を展開できるよう努めてまいります。

入間市こども計画策定に係る意見聴取(ヒアリング) 報告書

埼玉県 入間市 こども支援部 こども支援課 こども政策室

〒358-8511 埼玉県入間市豊岡一丁目 1 6 番 1 号

TEL：04－2964-1111（代表）

<http://www.city.iruma.saitama.jp/>